

「かっこいい」生き方をしようじゃないか

＜令和6年度 全校オリエンテーション校長講話概要＞

本日4月8日、ついに全校生徒が揃いました。令和6年度の本格的なスタートです。登校時、玄関に立つと、新入生から「おはようございます」という元気なあいさつをたくさんもらいました。清々しい気分が覆われ、心が洗われる思いでした。

新年度スタートにあたって、1年間の見通しを示しながらの目標と、校長としての全校生徒への期待と要望について話をしました。



＜これからの1年間＞

1(年) = 365(日) = 8,760(時間)
= 585,600(分) = 31,536,000(秒)

そのうち学校で過ごすのは

- ◇3年生 : 195日(約53%)
- ◇1・2年生: 203日(約53%)

「授業」こそ命



「授業」こそ喜びと楽しみ



「授業」こそ試練



生きがいの「部活動」



黙々と「委員会活動」
(図書館祭:7月)

伝説の新風祭を！





身に付けてほしい「資質・能力」

傾聴・共感力	コミュニケーション能力	表現力・発表力
『識る・慮る』	『関わる』	『伝える』
・ 他人の話を真剣に聞き理解する ・ 相手の考えや人格を尊重できる ◎ 相手の気持ちを深く理解する	・ 誰とでも話ができる ・ 相手の考えや思いを理解する ◎ 協働して課題解決に臨む	・ 知識や情報を有効に活用できる ◎ 自分の考えや思いを的確に表現できる ◎ 自分の考えや思いを的確に発表できる

私(校長)がめざしたい学校・生徒の姿は・・・

周囲から
「愛され・励まされ・応援される」
人間そして集団

「学校が楽しい」という生徒が100%

全員が「新津二中の生徒で良かった」と胸を張って誇れる学校

雰囲気をよくする

人間としての「幹」の部分

周囲から
「愛され・励まされ・応援される」人間そして集団

<基本的な生活習慣・規範意識のための7つのエキス>

モラル・マナー あいさつ メディア・コントロール

奉仕 親切・やさしさ 睡眠・食事 体力

人間としての「根っ子」の部分

私(校長)がみんなに望む生き方は・・・

周囲から 自然に
「愛され・励まされ・応援される」
人間そして集団

「カッコいい」生き方をしよう!

この春休みに、過去に担任をした教え子たちと集まる機会が3度ほどありました。それぞれ異なる3つの過去の勤務校の教え子たちは、年齢も世代も異なり何の接点もない集団同士ですが、それぞれの会でそれぞれの思い出話に花が咲き、どの会もとても懐かしく楽しいひとときでした。そんな中で、3つの別個の集まりなのに、共通の話題として大いに盛り上がったこんな話がありました。

「俺たちがでたらめな事やいい加減な事をした時は、先生に本気で何度も怒られたけど、必ず決まって言う口癖があったよね。」と。

それは、「バッキャロー！」を前置きに、「そんな『カッコ悪い生き方』をしてんじゃないかねー」とか「おまえの生き方は『カッコ悪過ぎだ』とまくしたてていたとのこと。「あの独特の茨城弁のイントネーションで何度怒鳴りつけられたことか。」と。

当時は自分ではそんなこと全く意識していませんでしたが、なるほどそう言われてみればその通りだったような気がします。

既に、いろんな場面で、今年度は、生徒の人間としての根幹の部分をもう一度鍛え直す、つまり人間形成の原点に立ち返る、という教育ビジョンの内容をお伝えしてきました。この方針に何ら変更はございません。

そして昨年度1年間繰り返し訴え続けてきた、目指す生徒の姿としての「周囲から自然に『愛され・励まされ・応援される』人間・集団」を、ということも今年度もぶれずに言い続けていきたいと思えます。

ただし、私も、あらためて教師としての原点に立ち返る意味で、「周囲から自然に『愛され・励まされ・応援される』人間・集団」と同様かつ付加的な表現として、今年度は、次の言葉も子どもたちに発信していきます。

「全校生徒のみんなよ、共に『カッコいい』いい生き方をしようじゃないか。」